

2021 ポストコロナ スタートアップ 支援助成金



助成金 上限 **400万円** × 上限 **10件**
最優秀賞 上限 **500万円**

• ポストコロナを見据えて •

コロナ禍により表出したデジタル化・非接触化などの新たな社会課題をはじめとする地域社会や国際社会の課題の解決に資する、スタートアップ等による新たな発想や技術に基づくイノベーションの創出を支援します。

• スタートアップ支援 •

一次審査を通過したファイナリストは専門家等による事業計画のブラッシュアップを受けられます。公開審査（ビジネスプラン・コンテスト）により優れたビジネスプランを有する起業家を選定し、事業の立上げや新たな拡大、研究開発に必要な経費を助成します。

5月14日

募集開始

6月~7月上旬

オンライン
普及セミナー

7月9日
16時

募集締切

7月下旬~9月下旬

一次審査
(コンテスト出場者決定)

9月下旬

専門家等による
プレゼン準備・指導

10月中旬

公開審査(ビジネスプラン・コンテスト)
(助成金採択者決定)

11月~3月

助成金交付申請・交付決定、
実績確認・助成金交付

申請・問合せ先

公益財団法人
ひょうご産業活性化センター
創業推進部 新事業課

TEL 078-977-9072
FAX 078-977-9112

〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号
神戸市産業振興センター 2階

ポストコロナ・スタートアップ

検索

<https://web.hyogo-iic.ne.jp/kigyoo/creative>

募集概要

●対象事業●

非接触化やデジタル化等、新たな技術を活用して with / after コロナ時代の社会課題の解決を目指す事業や、兵庫県から国内や海外へのグローバル展開等をも見据えた成長期待度の高い事業。

●対象者●

新規性や創造性に富んだビジネスプランを有する方のうち、次の何れかを満たす代表者(実質的な経営者)の方。

- ①令和4年1月末日までに県内に活動拠点を置いて新たに起業する予定の方
- ②令和3年4月1日時点で創業5年未満の県内に事業所を有するスタートアップ等の代表者の方

●助成金額・対象経費●

上限：400万円(助成率：10分の10)

但し、ビジネスプラン・コンテストで最優秀評価の事業者は上限500万円

- 起業または事業拡大に要する経費：(事務所開設費、備品購入費、専門家経費、広告宣伝費)
- 研究開発に要する経費：(人件費、試作・開発費等)

※助成対象期間：令和3年4月1日～令和4年1月31日(10か月)

※空き家を活用する場合は、改修費に対して別途100万円を上限に加算

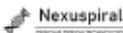
※上記助成金の申請とは別に、最大500万円の貸付を受けられる「ひょうごチャレンジ起業支援貸付」の申請が可能

公募要項、申請書様式等は、
コチラからダウンロードできます。

<http://web.hyogo-iic.ne.jp/kigyoo/creative/>



昨年度の採択者

事業者名 (代表者名)	事業内容
 株式会社 GENIT (堀江 良)	ポストコロナ・AI時代のオンライン会議ツール「カイト」の開発
 株式会社 Daft (的場 慎一)	with or after コロナ時代の OMO 販売プラットフォーム
 株式会社 With The World (五十嵐 駿太)	国内と海外の学校をオンラインで繋ぎ、社会問題をディスカッションする授業システムの提供
 株式会社 Compass (大津 愛)	「オンラインこども食堂」など、コロナ時代の親子サポートツールの開発・提供
 株式会社ナティアス (片岡 正典)	アカデミアの創薬シーズを「形」にして無償提供する事業の実施
 株式会社フードピクト (菊池 信孝)	兵庫五国の恵みでつくる植物由来肉を活用した分散型社会への挑戦
 Nexuspiral 株式会社 (増田 直之)	核酸のみを用いたゲノム編集技術を用いた医薬品の開発事業
 株式会社 mocchi (佐々木 純)	日常からの距離が遠い産業と暮らしをオンラインでつなぐ場の開発
 株式会社 Bit peeps (如南 友博)	災害時の施設スタッフのための行動支援システムの開発
 株式会社 Sydecas (寄玉 昌宏)	低糖質・植物性オルタナティブゼラチン素材「NinjaPaste」の生産事業